

## 2. 公開とリポジトリの責任

### 2.1. リポジトリ

本認証局は、リポジトリを一日 24 時間、一週 7 日間利用できるように維持管理に努める。リポジトリには証明書リポジトリと情報公開用リポジトリがある。システムの保守等において、一時的に停止を行う必要がある場合は、証明書所有者、証明書検証者及び関係者に対して、事前に通知若しくは Web ページで公表するものとする。ただし、災害、事故、障害発生時等やむを得ない事態が発生した場合はこの限りではない。

### 2.2. 証明情報の公開

次の情報を情報公開用リポジトリ上に公開する。

- CPS

また次の情報を証明書リポジトリ上に公開する。

- EE 証明書
- CRL

ただし EE 証明書と CRL は検証者のみに公開する。

なお、CPS 及び認証局に関する重要情報は、次に示す URI の Web ページにおいても公開される。

<http://jpnica.nic.ad.jp/>

### 2.3. 公開の時期又は頻度

本認証局が公開する情報について、公開の時期及び頻度は次のとおりである。

- CPS については改定の都度に公表される。
- 自己署名証明書、リンク証明書、下位認証局証明書については、発行及び更新の都度公表される。
- CRL については、発行の都度公表される。発行の頻度は本 CPS 「4.9.7.証明書失効リストの発行頻度」で規定される。
- 認証局に関する重要情報若しくはその他の情報は、必要に応じて適宜更新が行われる。

- EE 証明書については、発行及び更新の都度公表される。

#### 2.4. リポジトリへのアクセス管理

本認証局は公開情報に関して、読み取り専用の制御以外に特段のアクセスコントロールは行わない。認証に使われる EE 証明書の証明書検証者は JPNIC であるとする。従って基本的に証明書リポジトリは JPNIC に向けて提供される。